


Incubusard





火・水・風・土・氷・雷…
世界は様々な属性で
満たされている…
そしてその数と同じ
だけの属性を司る
精獣が存在している

彼らは属性そのもの…
それが意味する全ての
力を扱うことができる
…その力への畏怖から
これまで精獣に危害を
加える者はいなかった

その本能は正しい…

力の強大さもあるが
「属性」そのものである
ことの本質が…

この世界の住人には
重大な問題になるのだ…

…そして…



異界からの訪問者に
その理屈は通らない…

今日は俺と同じ偉大な四大属性の精獣に集合してもらった！

俺達に関する重要な問題を議論したい！聞いてくれ！！



精獣は属性そのものだし！その重大さは分かるよな？

水

土

火

風



例えばもし俺がいなくなれば火が世界から消滅してしまうんだ！

この世界が変化する！

属性に替えば効かない…つまり俺達は世界を支えているも同然だ！



……

へえ…なるほど



つまり俺達は
とつても偉い
存在なんだ!

もっと敬われて
特別扱いされる
べきだろ!
そう思わないか?

表に出て目立ち
たいってこと?
うんそれは:

だってさあ:
世界支えてる
俺達がこそこそ
隠れ住むなんて
おかしいだろ?

しまった!
火種忘れて
来ちゃった
頼む!

聞いて
すら
いねえ

やった♪鉄板焼き
するなら今から
魚釣ってくるよ♪
火おこしは君に
任せるね

おい:
まだ話は
終わって

精獣は静かに
暮らした方がいい
崇拝されたって
ただ息苦しいだけ
じゃよ:

まあその愚痴は
酒の肴に聞くから
そんなに気を
落とすんじゃない



それにな…
精獣は重要
だが決して
偉くはないぞ…

むしろ損な役
かもしれん…

ワシらが欠け
たら全世界に
被害が及ぶ…

お主の言う通り
「責任」は重大じゃ
…だから目立って
悪意の的になる
わけにはいかんな

畜生…結局
隠居生活
しろってか

?

なんだ
そのワイン
飲みかけか?

すぐなく
なりそう
だな…

あれ…変だな?
このバケツ…
穴が開いてるわけ
でもないのに…



水かさが
かなり
減ってる…



捕まえた♪

…誰？

いや…そもそも
ここはどこ？

間違いない
僕のいた世界
じゃない…

少なくとも
ここに目の前の
何かといたら
ヤバイ…

それだけは分かる！



ハロー♪

気分はどう？
さっき盗み
聞きしてたん
だけども…

君って精獣
っていう重要な
存在らしいね？



突然で申し訳ない
んだけど…僕は君の
世界を侵略しに来た
んだ♪よろしくね！





くく...♪

あぁあ

ぐっ

バ 千 千 千

あぁあ あ

バ
バ
バ

淫辱エナジ―は
全身の性感帯を
凌辱して魂に
潜む淫獣を呼び
覚ますことが
できるんだ！

はもっ

や…あ
…んっ！！

君の中の淫獣が
芽生えたようだね
：あはははっ！
偉大な精獣：
なくんて言っても
所詮はケダモノさ

犯し犯され！
捌り捌られ！
肉欲を貪る！
ただのケダモノ

これは誰も
逃れられない

性欲のない
獣なんて
いやしない

精獣だって
同じだよ！



ニヤァ...



はあ♡

は！♡

まだ...
まだあ...

は！♡

...くっ

は...♡



君に最高の贈り物を
プレゼントしよう♪
この淫魔種を乳首に
埋め込んであげるね



くっ...

くくく...簡単に
堕ちちゃったら
全然おもしろく
ないもんねえ
もっと楽しもう



そうだね
そうで
ないかね

ん♡

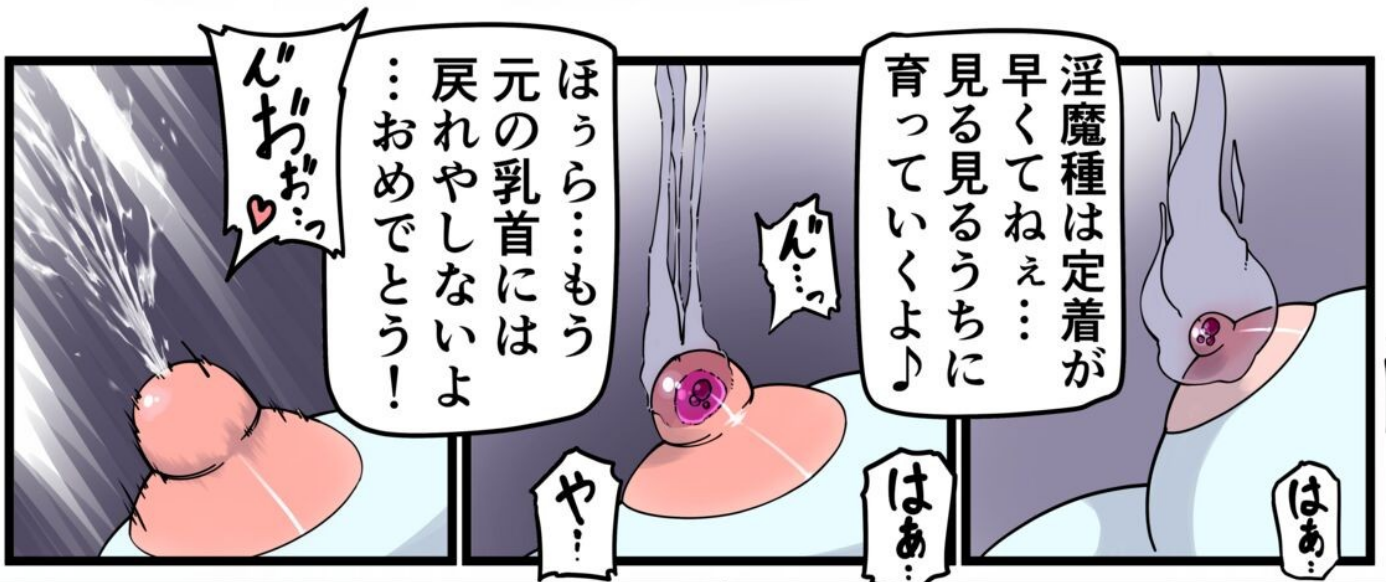


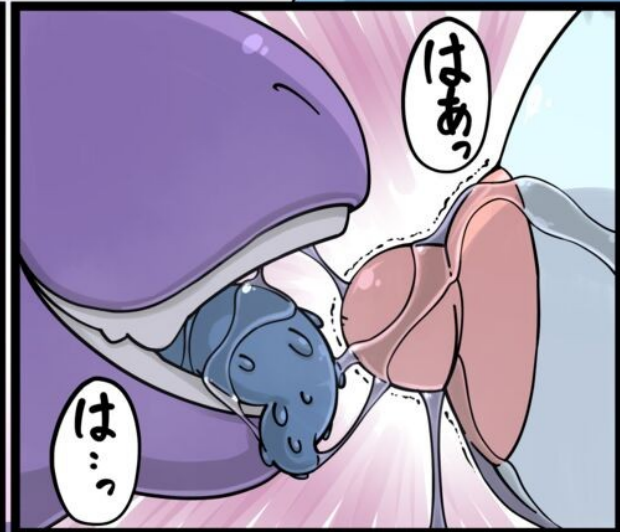
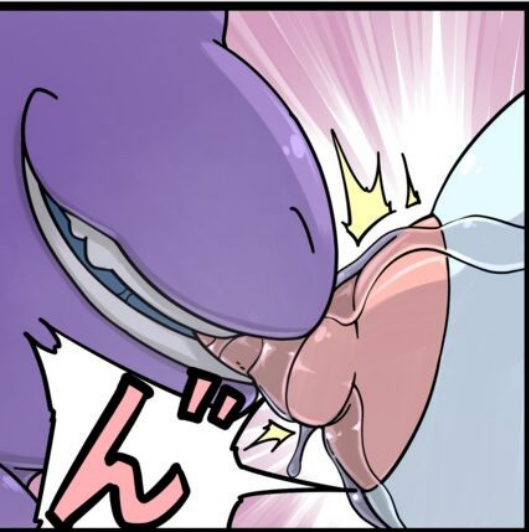
ダメ♡

雌に
なりな!



やっ







雄の癖に随分
甘くて旨い
母乳を出す
じゃないか…



ちゅは、ん



あんい



あっ

あ

くちゅあ



チンポがなかったら
雌と間違われても
おかしくないね…
乳首弄りでそんな
アンアン善がるとか



ほもっ

は！

やっ

ははっ♪
鳴き声もいい
：善がり方も
可愛いもんだ



…ほんと
変・態♪

ほそ



君たち精獣は世界を構成する「属性」を司るって聞いたよ…例えば水の精獣の君が消えたらこの世界から水が消えるんだよね…？

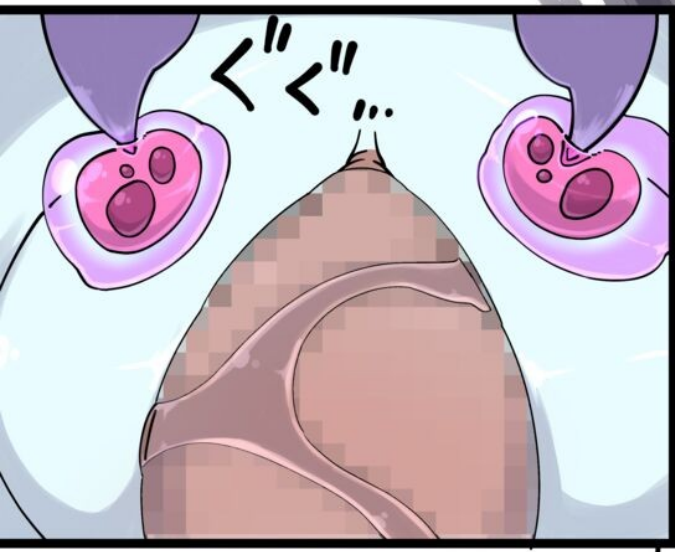
僕はこの世界を支配しに来たんだけどさ…今の世界のまま僕のものにしたいんだよね…

は…

あ…

はあ

はー

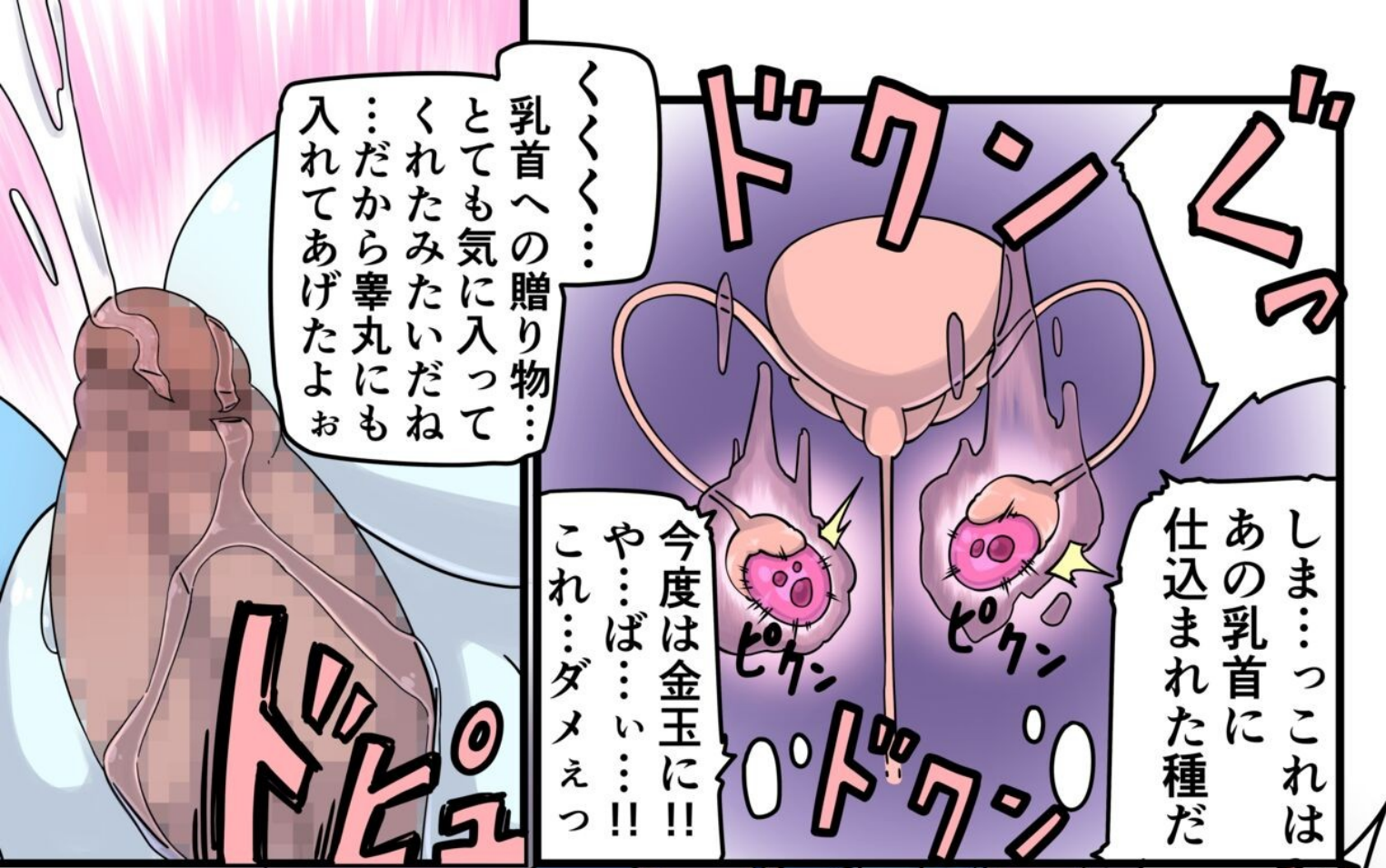


だから君たち精獣は壊さずに僕の言う事を聞くよう完全に調教し尽くす事にすることにしたんだよねえ♪

僕に仕える事が最高の悦びだって分かってもらおうってねえ…

は！

は！



くくくく…
乳首への贈り物…
とても気に入って
くれたみたいだね
…だから睾丸にも
入れてあげたよお

しま…っこれは
あの乳首に
仕込まれた種だ

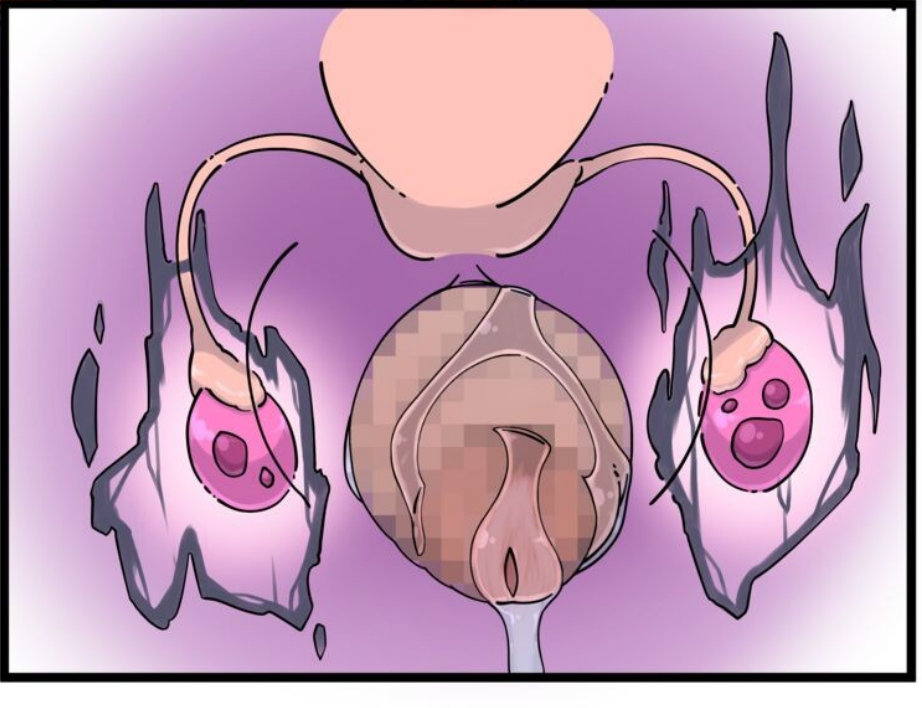
今度は金玉に!!
や…ば…い…!!
これ…ダメえっ

ドクン
ドクン



睾丸は乳首とは
違ってスリット内
の筋肉に包まれて
いるからね…

あーっ
あーっ



筋肉の痙攣で
簡単に絶頂き
続けることが
できるよ♪

ほらほらあゝ♪
そんな簡単に
イッたらその
痙攣で睾丸を
もっと締め
上げることに
なっちゃおうよ？

やっぱり
訓練が
必要な？

まずは快感に
慣れることから
始めようか…
快感の最大値を
覚えるんだ…

その快感に
慣れていけば
徐々に絶頂の
暴走は収まるさ



そういう
ことだから
今日は
最高の快感

潮吹き
の快感
をじっくりと
教え込んで
あげるねえ…

ねは…

くくく…

ぬ…

るう…

あ

暴れられない
ように手足は
拘束させて
もらおうよ〜♪

は…♡

はあ…



そんじゃ
早速
イって
みようか!





イって
ごらん♪

め!

ほら
ほら

ほら
...

やっ



お!

ダメ

フエ



くく..

へ

お仕置きが
必要かなあ...

性奴隷の分際で
ご主人様に
チンポ汁を
ぶっかけるか?



くく…



これでよし…
どうだい？
今の気分は？

あ！



乳首と亀頭の
同時責め…
身を振る事も
できまい…

タメ



ズルン
ん



は！
は！

くくくく…
さして…これで
僕の両手は
フリーになった

君に追加でもう
一つの教育…
ご主人様への
礼儀ってのを
施してやること
ができるねえ…

やはり最初は
ご主人様の
チンポを覚えて
もらおうか…

拒否すればここに
濃厚なエナジーを
流し込んでやる…
もしそうなれば
中にある淫魔種は
刺激で第二段階に
成長するだろう

この味と
臭いを
脳に刻み
込みたい

第二段階になれば
感度が圧倒的に
上昇するだけじゃ
ない…乳腺から
淫毒が分泌される
ようになりそれが
全身を駆け巡る…

気化した君の
母乳は淫らな
フェロモンに
なって周囲の
性欲を擽る…
さ…どうする？



おっ

くっ

はあ…

はあ…

！



くく…
 いいのかあ？
 早くしないと
 淫辱エナジーを
 全力で流し込む
 ぞく…くくく♪



お？なんだ
 分かって
 くれたのか

ふ…ぐう…
 ぐ…ん…っ



可愛くて
 とても淫乱な
 性奴隷だよ…

くく…
 いい子だ…
 従順で素直で…
 …そして…

ニク？

キョ？…

ほらほら〜♪
上手にしゃぶらないと
お仕置きだからねえ〜

んっ

んっっっ

その調子！
舌で絡めて
気持ちよく
させて〜♪
がまん汁を
思い切り
吸ってよ！
さあもつと

ずばりっ

うんうん♪
初めてにしては
上出来だよ！
ご褒美に少し
射精してあげる〜

全部飲み
干しなよ！！

あっ！！
トビュ



それにしても
絞るような舌の
使い方…君に
ちよつとした
才能を感じたよ



よくできました
しっかりとこの
僕の味と臭いを
覚えるんだぞ♪



だから特別に
素敵なご褒美を
あげるねえ♪
これからも努力
するんだよ♪

早く淫猥な
性奴隷として
完成するんだ
…ウルル…

ずるっ



あつ……ぐ……

くくくく……
ほら見て！
透明な潮だよ

雌の愛液みたい
これじゃもう
雄は名乗れない
かなあ〜♪

もう……ダメえ……

流石に少し
可哀そうに
なってきた
ねえ……くく

こ……
これ以上は
……やめ……て……

な……何か……
言ってる……？

この淫獄に耐えられないなら
交換条件で解放してあげても
いいんだけど……くくく……
聞こえてるかな？
よ〜く聞くんだよお〜♪

君の友達を
僕に引き渡せ……
そしたら君は
解放するよ……

……
!?

嫌だ！
そんなこと
するくらいなら
大人しく凌辱
されるのを選ぶ

…あ…

…っ
!!

…



最高の
回答だよ

大正解

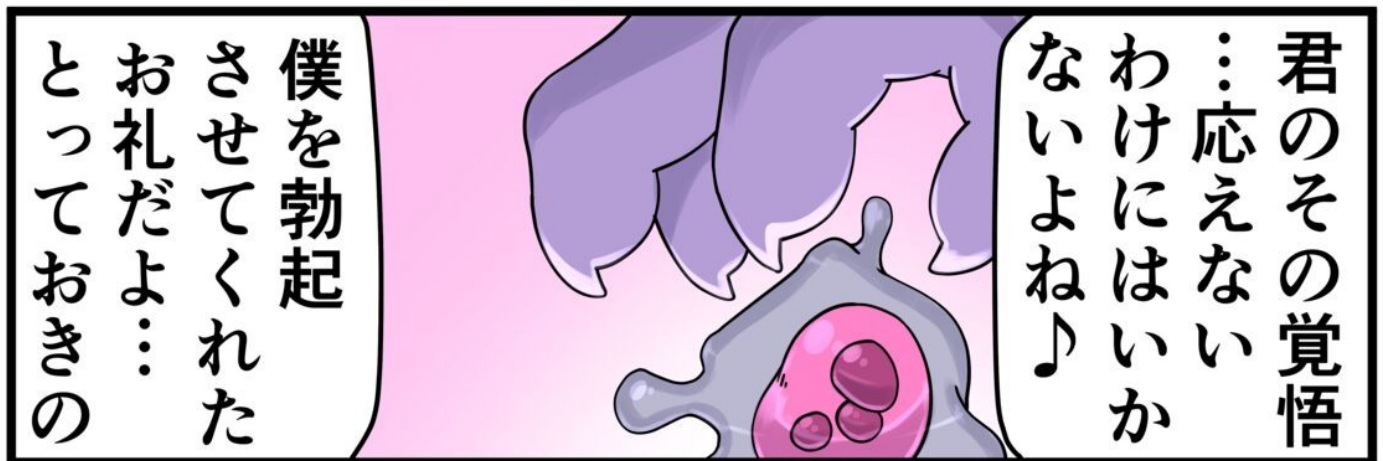
それ…





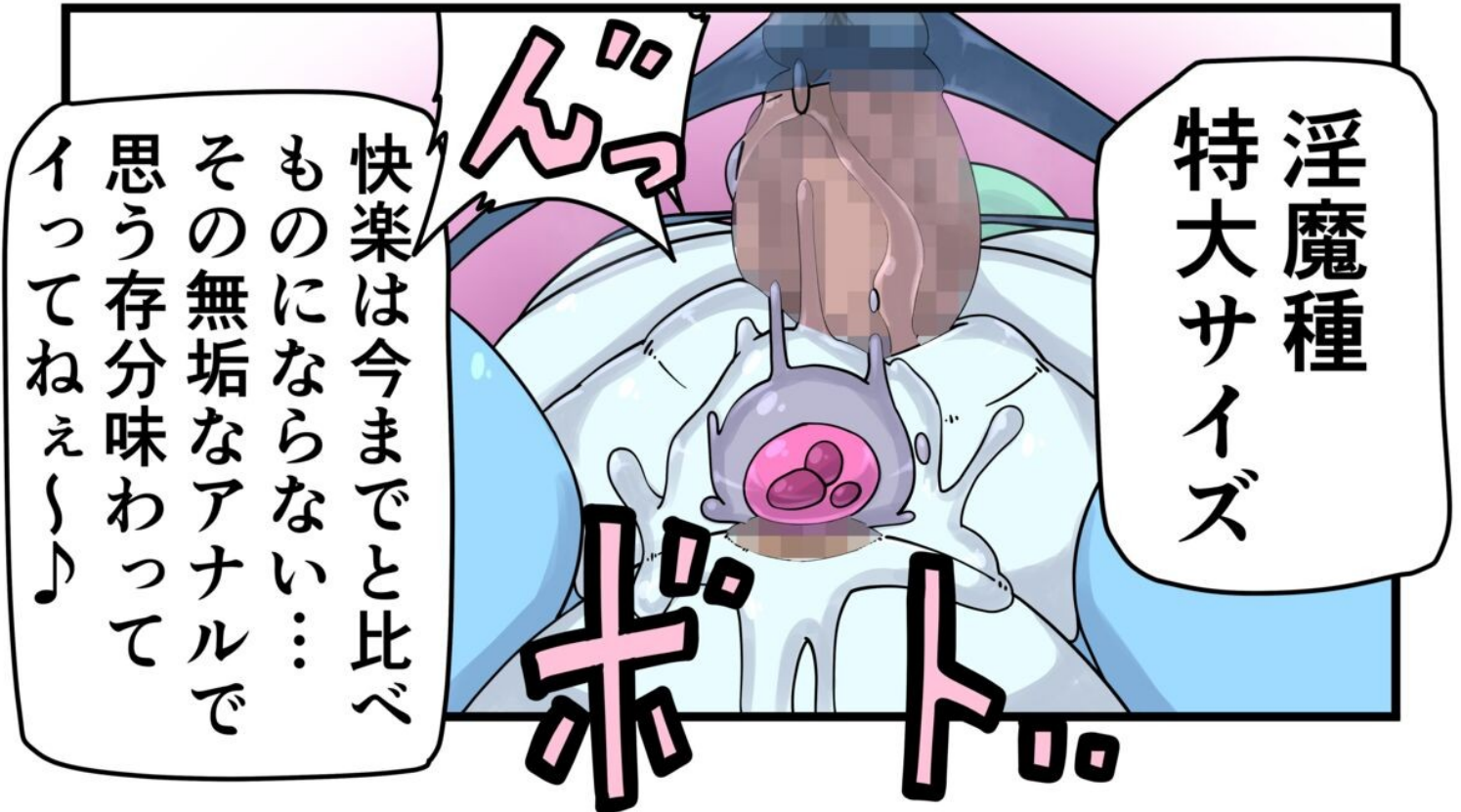
すぐ墮ちる軟弱な
肉便器に興味
なんてはない：
凌辱に耐える君を
黽りたいんだ！

そうだよ！
そうでなくちゃ…
もっと抗って！



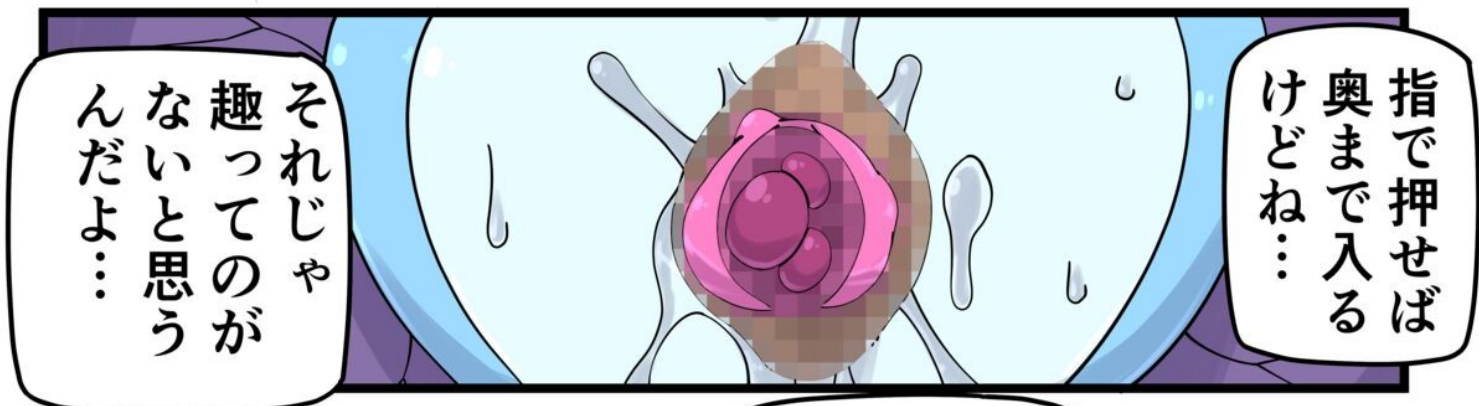
君のその覚悟
：応えない
わけにはいか
ないよね♪

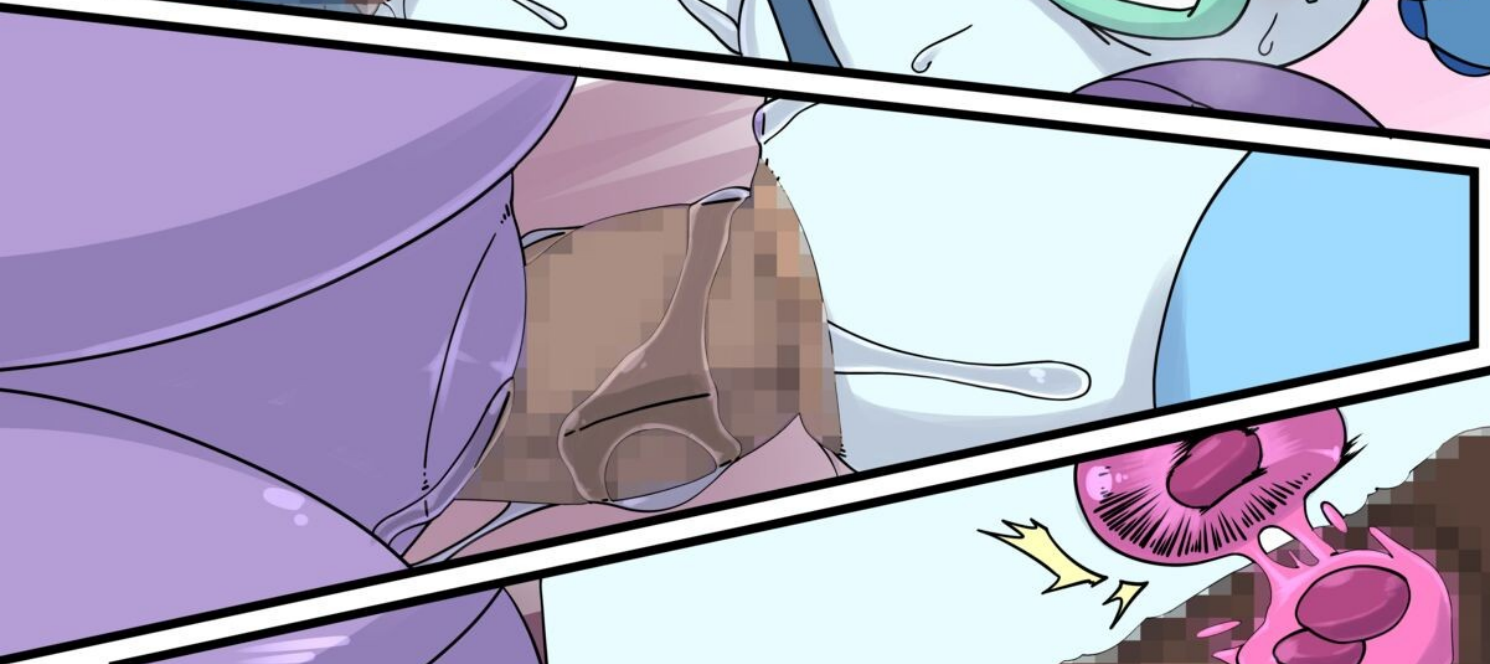
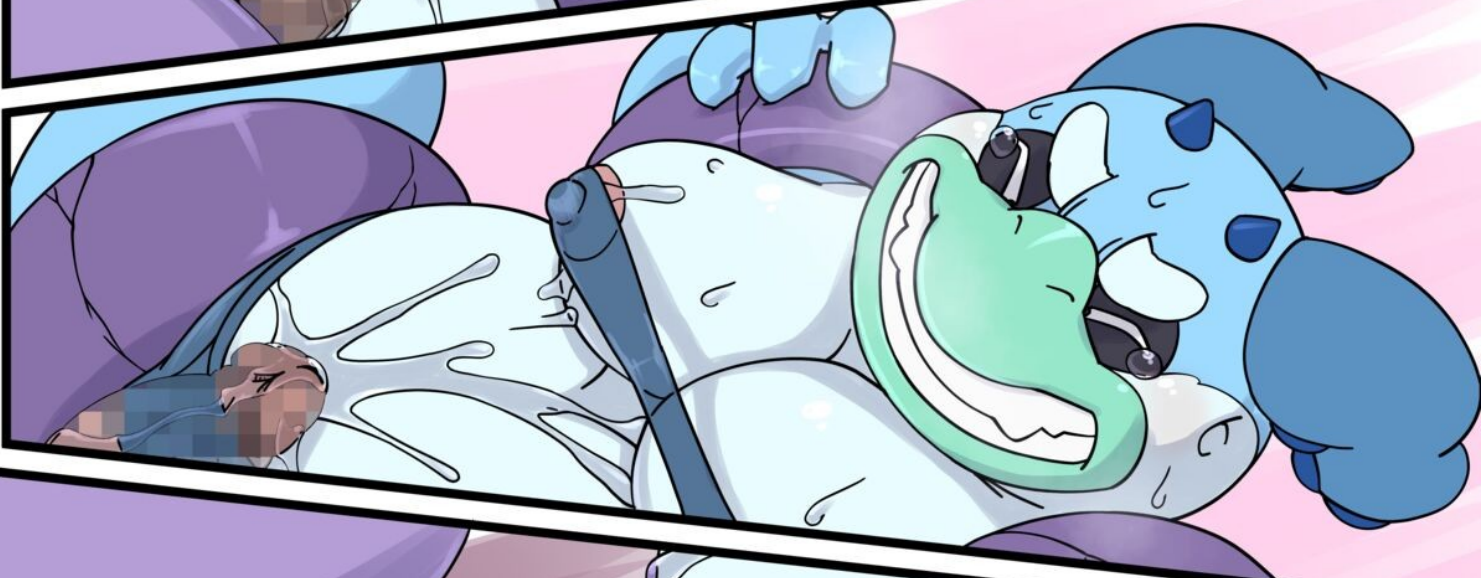
僕を勃起
させてくれた
お礼だよ：
とっておきの



淫魔種
特大サイズ

んっ
ボトッ
快楽は今までと比べ
ものにならない：
その無垢なアナルで
思う存分味わって
イってねえ♪







くくく…
おやおや

わん!!

はー♡

はー!



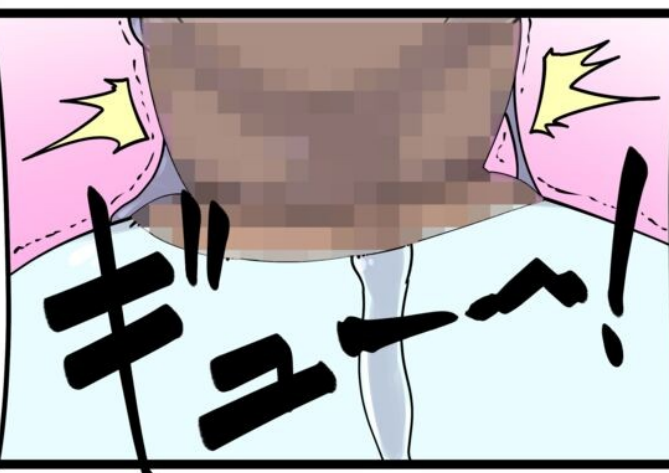
パッ!



ドゥ

サ

今の衝撃でも
チンポが引っこ
抜けないなんて
凄い締め付けだね



キュー!

キツ過ぎるくらい
だけど痛くはない
: 君も痛みを
感じていないん
じゃないかな…?

だって肛門の
内側がヌルヌル
なんでもん♪
本当に柔らかい



ヌル..

まあ: 事前に
あれだけ絶頂させ
たんだ: 躰の隅々
までほぐれてて
当然だよねえ♪



は…

は…

どれどれ

淫魔種が大きすぎて
馴染むまでもう少し
時間がかかりそう
だねえ…♪



そんなじゃ
馴染むまで

余興と
いこうじゃ
ないか…



ほら…その
体勢で腰を
振って踊り
狂うんだ!



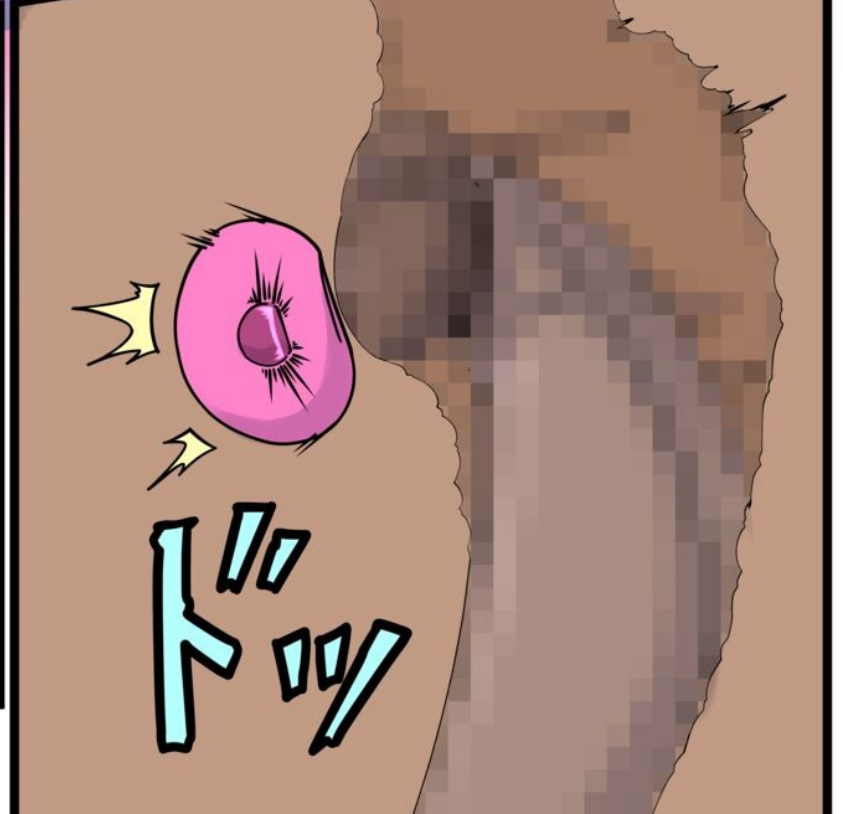




やめ…
許し…



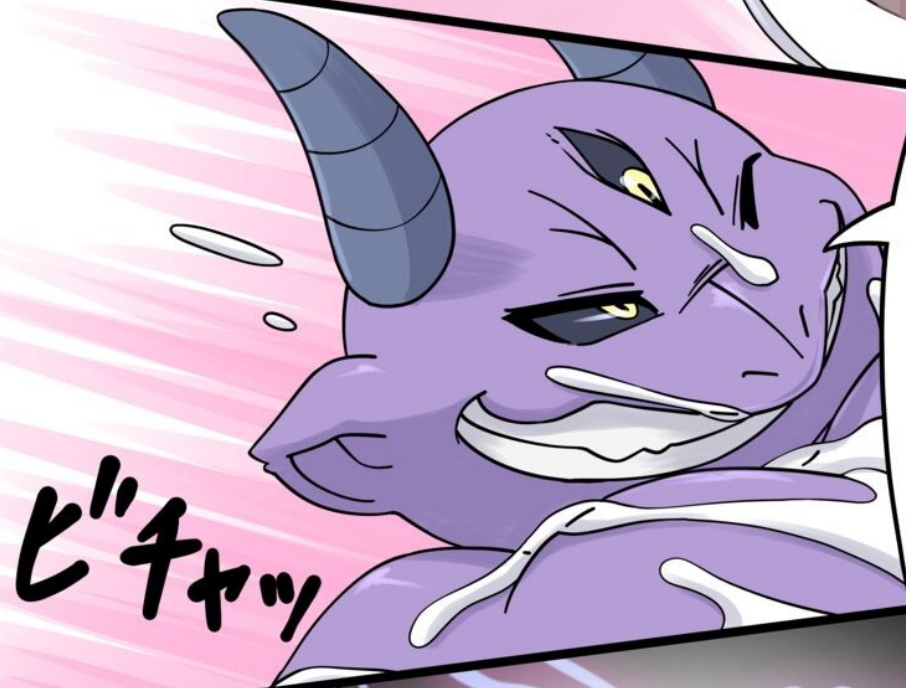
流石にもう
強がる余裕も
ないみたい
だねえ…
そろそろ一度
満足させて
あげようか…





ピュルル..

どうだい？
今の快感は僕の
チンポじゃないと
絶対味わえない！
もう僕なしじゃ
満足できないかも
ねえ……くくくくく……



ピチャッ

でも今のはあくまで
7割程度の力で突き
上げたにすぎない！
今10割を味わったら
逆に壊れちゃうんだ



ヌル..

君が反抗的な態度を
続けていればすぐに
それを味わうことにな
るかもね♪

ピクン

ピクン



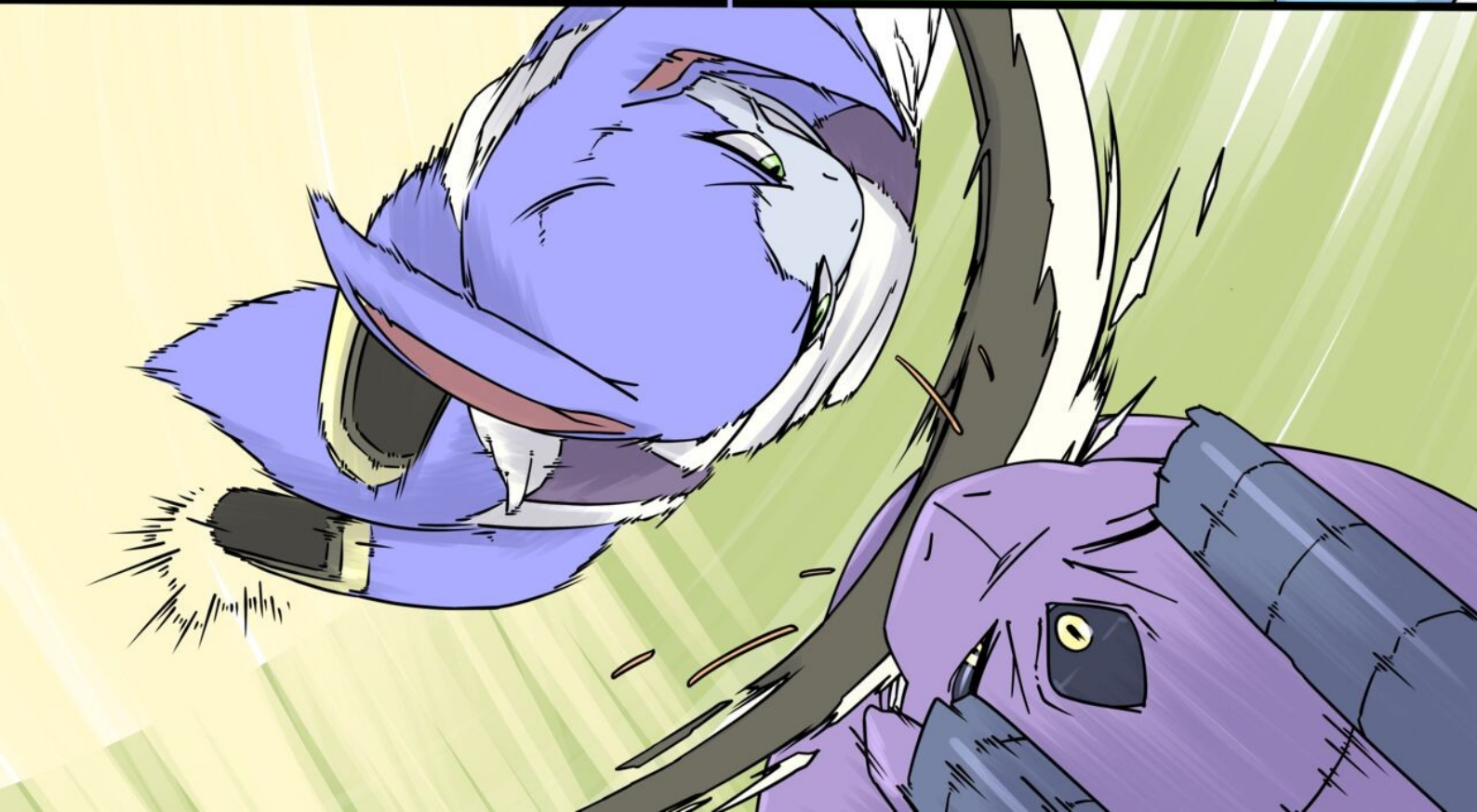
さして…君を
囮に仲間を誘い
出してやろうか
…まずは…

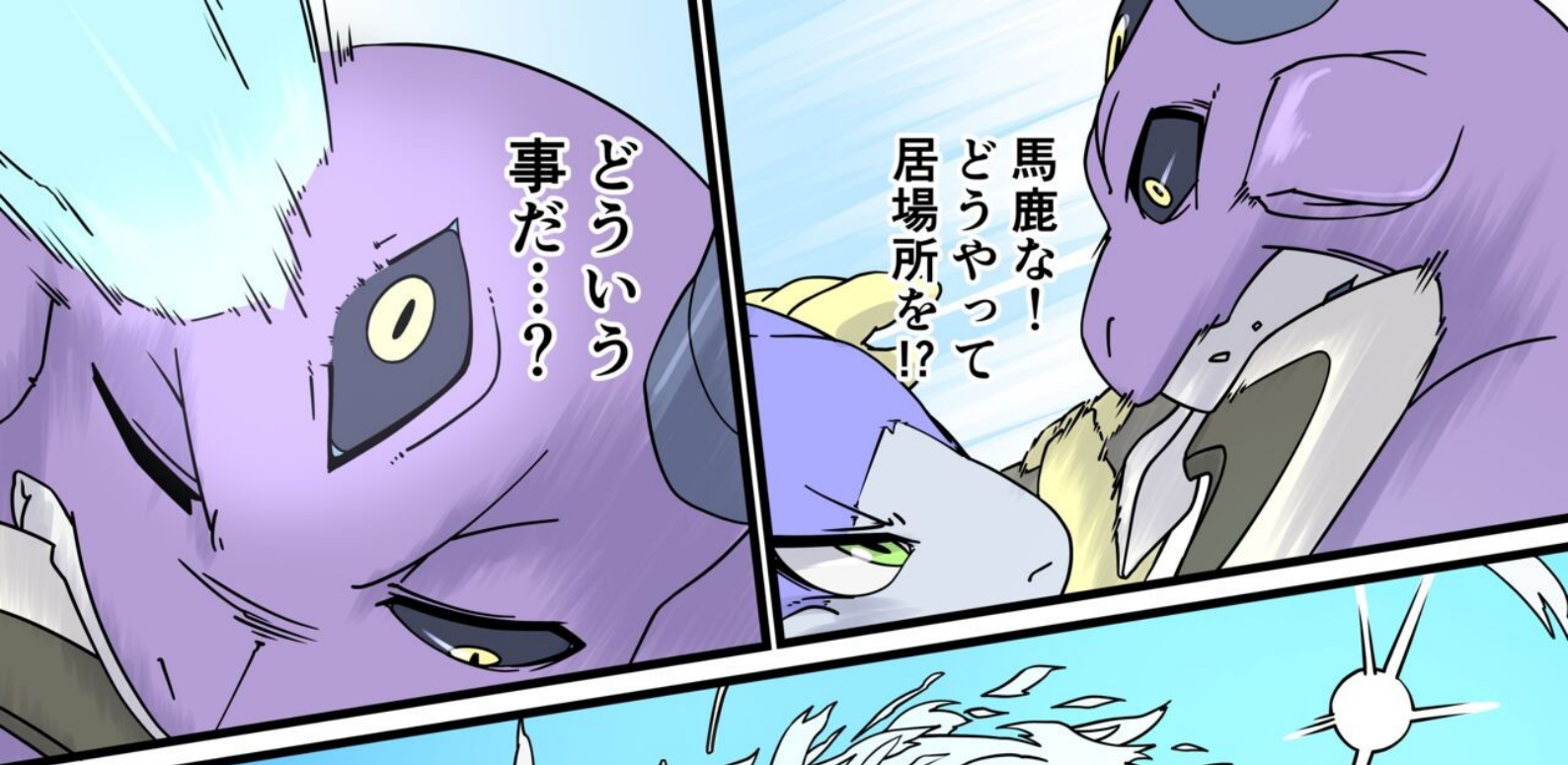


何
!?



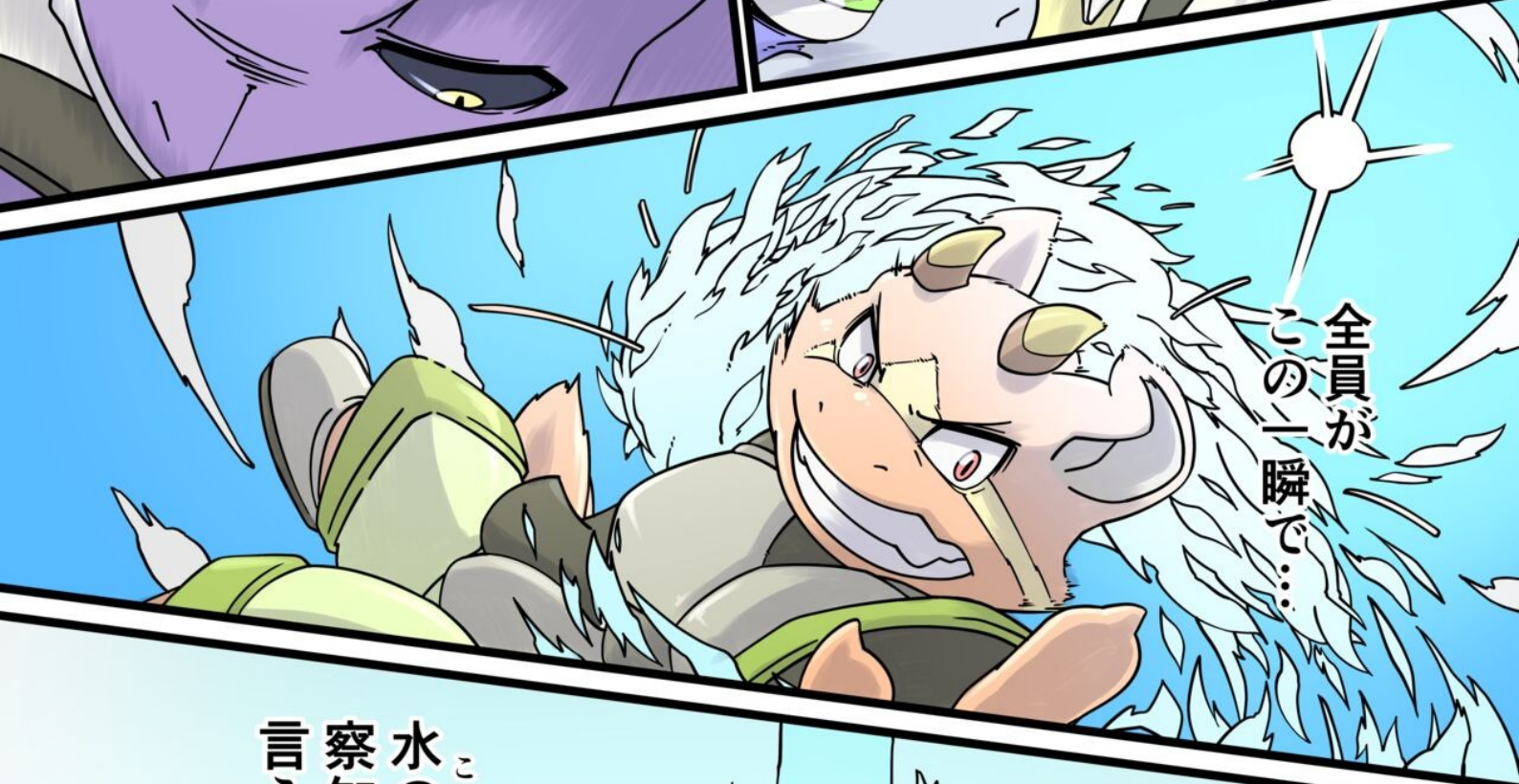
ガッ





馬鹿な!
どうやって
居場所を!?

どういう
事だ...?



全員が
この一瞬で...



こいつ
水の精獣の存在を
察知したとでも
言うのか!?

**お買い上げありがとうございます！
Thank you for your purchase!**

**エロシーン描きすぎて前半と
後半に分かれてしまいました。
後半も随時作っていくので
よろしくお願ひします。**

**This is the first half.
The second half is in production.
Coming soon...**

